



2026年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月12日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東

コード番号 3418 URL <https://www.balnibarbi.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 裕久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 宮下 大輔

TEL 06 (4390) 6544

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第1四半期の連結業績 (2025年8月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年7月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	3,763	6.3	155	24.3	145	18.9	109	38.0

(注) 包括利益 2026年7月期第1四半期 110百万円 (37.8%) 2025年7月期第1四半期 80百万円 (△63.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年7月期第1四半期	円 銭 10.18	円 銭 —
2025年7月期第1四半期	8.80	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年7月期第1四半期	百万円 13,429	百万円 6,128	% 44.7	円 銭 555.74
2025年7月期	13,536	6,071	43.9	550.56

(参考) 自己資本 2026年7月期第1四半期 5,999百万円 2025年7月期 5,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年7月期	円 銭 —	円 銭 2.50	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 7.50
2026年7月期	—	—	—	—	—
2026年7月期(予想)	2.50	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年7月期の連結業績予想 (2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	百万円 7,181	% 3.1	百万円 249	% 3.9	百万円 224	% △1.4	百万円 154	% 23.8	円 銭 14.32
通期	15,095	5.3	740	15.9	683	9.9	443	3.5	41.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期 1Q	10,962,380株	2025年7月期	10,962,380株
② 期末自己株式数	2026年7月期 1Q	167,405株	2025年7月期	167,405株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年7月期 1Q	10,794,975株	2025年7月期 1Q	9,050,279株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や賃金上昇を背景に、個人消費は緩やかな回復基調が続きました。一方で、エネルギー・原材料価格の上昇、円安の長期化、国際情勢の不安定化などにより、先行きは不安定な状況が続いております。外食業界におきましては、インバウンド需要が堅調に推移したものの、慢性的な人手不足に加え、人件費、エネルギー価格、米を含む主要食材の価格高騰、消費者の節約志向の強まりなど、コスト面・需要面双方において厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、従来の「レストラン事業」におけるバッドロケーション戦略での出店で培ったノウハウや知見をもとに、食をベースに総合的なエリア開発を行うことで活性化した不動産の流動化により新たな収益を見込む「エstateトビルドアップ事業」を2つ目の成長戦略の柱とし、「食から始まる日本創再生」に取り組んでおります。

レストラン事業においては、ニューノーマルのライフスタイルにおける新しい外食時間として、時間の概念にとらわれず楽しんで頂けるメニューの提案や空間づくりに取り組むと共に、顧客体験の向上と収益の最大化を目指し、既存店の再構築を進めております。店舗運営子会社を中心に、その店舗のマーケットや環境に適したきめ細やかなサービス内容の拡充や価格帯の見直し、業態変更等を含む総合的なアプローチなどにより、お客様の潜在的なニーズに応えることで付加価値を高め、市場競争力の一層の強化を図るべくグループ一丸となって取り組みを行っております。また、行政・自治体からの出店要請は引き続き強いニーズがあり、出店エリアを厳選したうえで新規出店に伴う運営体制の構築に取り組んでおり、さらには、都心部や季節変動の高いエリアの店舗から期間限定で出向くことのできる新たな働き方のモデルケースとして、冬季期間限定出店も実施しております。これにより、柔軟で効率的な事業運営を実現し、社員のライフスタイルにも対応した働き方を支援しております。

エstateトビルドアップ事業においては、淡路島北西海岸を舞台に展開する食を通じた地方創生プロジェクト「Frogs FARM ATMOSPHERE」におきまして、飲食店、宿泊施設の展開等、現在、22施設を展開しております。廃校をリノベーションした淡路島「SAKIA」におきましては、地域交流の場を提供すると共に、中長期滞在に向けたワーキングスペース機能や宿泊機能等を併設した「SAKIA STAY」も順調に稼働しております。2025年10月25日には、淡路島「SAKIA」にて、当社として初めて淡路島で第34期定時株主総会および事業説明会を開催いたしました。総会後には、同エリアの魅力を体験いただくフェス形式イベントを実施し、事業の世界観と地域との連携を発信する機会となりました。淡路島南岸におけるプロジェクトでは、2024年7月に開業したレストランを核に、2025年4月には5棟のコテージホテルをオープンし、また、同エリアにおいて新たなホテルの開業に向けて準備中です。淡路島に新たな観光客を呼び込む拠点としての役割を果たすと共に、地域全体の魅力を発信し、エリアの活性化に寄与することを目指してまいります。また、2023年に開業いたしました島根県出雲市西海岸における地方創生プロジェクト「WINDY FARM ATMOSPHERE」では、レストラン、宿泊施設の運営の強化に加え、パーキングエリアを活用したアウトドアスタイルのウェディングプランの構築など様々な施策に取り組んでおります。現在、開発エリアを拡大するための準備を実施しておりますが、自治体や地域企業と連携しながら、より多様な施設やサービスを提供できるよう地方創生の取り組みを推進しております。加えて、愛媛県伊予市森・三秋エリアにおいては、瀬戸内海を望む優れた景観を生かし、レストラン、BBQゾーン、グランピング、一棟貸しコテージ、RVパーク等を一体的に整備する滞在型観光拠点の開発準備を進めております。伊予市が誇る農水産物を活用したメニューーや加工品の開発にも取り組み、地域資源を生かした食文化発信拠点として中長期的な価値創造を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社及び連結子会社の店舗の増減はなく、当第1四半期連結会計期間末における当社グループの運営する店舗数は102店舗となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,763,757千円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は155,711千円（前年同四半期比24.3%増）、経常利益145,251千円（前年同四半期比18.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益109,912千円（前年同四半期比38.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

店舗運営に関しましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かい店舗運営に取り組み、ビアガーデンやバーべキュー、こたつテラス等季節に応じた店舗運営、営業企画やイベントの立案、安心安全なテラスの活用や、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,379,828千円（前年同四半期比7.0%増）となり、セグメント利益は90,407千円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

(a) バッドロケーション

バッドロケーション戦略におきましては、大型・複合型物件の開発を進める一方で行政や大手デベロッパーとの連携により様々なソーシャルプロジェクトなどへ参画を行うことで、食をベースに複合的な店舗開発を推進しております。また、引き続きバッドロケーション戦略の店舗の運営安定化を目的に不動産定期借家契約による退店リスクのある物件につきましては土地、建物、借地権取得など不動産保有を推進し店舗運営の安定化による収益性確保、不動産価値向上による財務体質の改善に努めております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるバッドロケーション戦略の店舗数は、関東地区18店舗、関西地区7店舗、その他地域2店舗の計27店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は912,416千円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

(b) 不動産デベロッパー

不動産デベロッパー戦略におきましては、好立地、特別な店舗家賃での誘致や初期投資の軽減など好条件での物件獲得を行うことができ、売上規模、収益性、話題性の高い物件を選定することで当社の個性を活かした店舗開発を推進しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における不動産デベロッパー戦略の店舗数は、関東地区20店舗、関西地区15店舗、その他地域3店舗の計38店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,602,830千円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

(c) 行政・公共機関

行政・公共機関戦略におきましては、新たな地方自治体との取り組みにおいて、その街ならではのオリジナルな業態の開発、地域活性化イベントの開催などを行い、地方創生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における行政・公共機関戦略の店舗数は、関西地区13店舗、その他地域1店舗の計14店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は591,337千円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

(d) 大学・その他

大学・その他戦略におきましては、学生のみならず近隣住民へのターゲット層の拡大及びコストコントロールによる収益性改善を進めております。また、顧客の消費動向の変化により拡大した中食需要の取り込みを目的とした通販サイト「CANDLE TABLE」の展開等、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における大学・その他戦略の店舗数は、関東地区1店舗、関西地区3店舗の計4店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高61,149千円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

(e) その他の事業

その他の事業は、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第1四半期連結累計期間における売上高は93,877千円（前年同四半期比33.9%増）となりました。

② エステートビルドアップ事業

当社グループでは、食をベースとした地方創生プロジェクトとして兵庫県淡路島北西海岸「Frog's FARM ATMOSPHERE」を筆頭に、島根県出雲市西海岸「WINDY FARM ATMOSPHERE」及び兵庫県南あわじ市のエリア開発に取り組むことで、地方創生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるエステートビルドアップ事業の店舗数は関西地区15店舗、その他地域4店舗の計19店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は502,145千円（前年同四半期比4.6%増）となり、セグメント利益は65,304千円（前年同四半期比41.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

現金及び預金の増加118,894千円、未収金の減少167,150千円、建物及び構築物の減少48,245千円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ107,172千円減少し、13,429,679千円となりました。

(負債)

短期借入金の増加242,752千円、長期借入金の減少217,017千円、未払法人税等の減少69,544千円、未払消費税の減少83,919千円等により、負債は前連結会計年度末に比べ163,850千円減少し、7,301,525千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して56,677千円増加し、6,128,153千円となりました。これは主に利益剰余金が55,937千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年9月12日の「2025年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,394,087	3,512,981
売掛金	806,806	756,004
商品及び製品	210,066	217,733
原材料及び貯蔵品	36,003	33,818
販売用不動産	2,217,170	2,199,849
未収還付法人税等	3,597	3,926
未取消費税等	2,372	488
その他	399,671	238,435
貸倒引当金	△4,655	△4,655
流動資産合計	7,065,119	6,958,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,651,124	2,602,878
機械装置及び運搬具（純額）	53,714	55,068
工具、器具及び備品（純額）	746,175	744,591
土地	1,164,357	1,174,355
リース資産（純額）	1,201	901
建設仮勘定	255,022	305,759
有形固定資産合計	4,871,594	4,883,554
無形固定資産		
借地権	295,288	291,004
のれん	24,765	22,368
その他	20,773	20,010
無形固定資産合計	340,827	333,384
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550	1,550
差入保証金	695,287	701,445
繰延税金資産	520,730	513,425
その他	28,268	25,817
投資その他の資産合計	1,245,836	1,242,238
固定資産合計	6,458,258	6,459,177
繰延資産		
株式交付費	13,473	11,920
繰延資産合計	13,473	11,920
資産合計	13,536,851	13,429,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	350,870	341,763
短期借入金	537,584	780,336
1年内返済予定の長期借入金	1,003,438	973,068
リース債務	1,751	768
未払金	675,610	680,713
未払法人税等	108,482	38,938
未払消費税等	236,685	152,765
契約負債	13,681	18,145
賞与引当金	8,467	32,993
株主優待引当金	45,575	37,973
資産除去債務	—	11,093
その他	164,345	144,968
流動負債合計	3,146,493	3,213,528
固定負債		
長期借入金	3,556,058	3,339,041
資産除去債務	690,344	677,520
繰延税金負債	11,703	11,553
その他	60,776	59,881
固定負債合計	4,318,882	4,087,996
負債合計	7,465,376	7,301,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,608,010	1,608,010
資本剰余金	1,956,273	1,956,273
利益剰余金	2,551,623	2,607,560
自己株式	△172,596	△172,596
株主資本合計	5,943,310	5,999,247
非支配株主持分	128,165	128,905
純資産合計	6,071,475	6,128,153
負債純資産合計	13,536,851	13,429,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
売上高	3,539,589	3,763,757
売上原価	904,676	966,468
売上総利益	2,634,913	2,797,288
販売費及び一般管理費	2,509,635	2,641,576
営業利益	125,277	155,711
営業外収益		
受取利息	236	3,391
受取保険金	778	1,523
助成金収入	200	—
違約金収入	3,496	1,932
協賛金収入	2,960	—
その他	2,285	3,309
営業外収益合計	9,956	10,157
営業外費用		
支払利息	10,341	16,160
シンジケートローン手数料	499	499
その他	2,201	3,956
営業外費用合計	13,042	20,617
経常利益	122,191	145,251
特別損失		
固定資産除却損	751	—
固定資産売却損	411	—
特別損失合計	1,163	—
税金等調整前四半期純利益	121,028	145,251
法人税、住民税及び事業税	25,498	27,443
法人税等調整額	15,245	7,155
法人税等合計	40,743	34,598
四半期純利益	80,284	110,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	661	740
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,623	109,912

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益	80,284	110,652
四半期包括利益	80,284	110,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,623	109,912
非支配株主に係る四半期包括利益	661	740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年8月1日 至 2024年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	1,411,239	—	1,411,239	—	1,411,239
関西	1,425,736	381,292	1,807,029	—	1,807,029
その他	194,599	98,724	293,324	—	293,324
顧客との契約から生じる収益	3,031,575	480,017	3,511,592	—	3,511,592
その他の収益	27,997	—	27,997	—	27,997
外部顧客への売上高	3,059,572	480,017	3,539,589	—	3,539,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,552	—	100,552	△100,552	—
計	3,160,125	480,017	3,640,142	△100,552	3,539,589
セグメント利益	79,000	46,277	125,277	—	125,277

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年8月1日 至 2025年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	1,523,843	—	1,523,843	—	1,523,843
関西	1,480,081	405,447	1,885,528	—	1,885,528
その他	238,217	96,698	334,916	—	334,916
顧客との契約から生じる収益	3,242,142	502,145	3,744,287	—	3,744,287
その他の収益	19,469	—	19,469	—	19,469
外部顧客への売上高	3,261,611	502,145	3,763,757	—	3,763,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	118,217	—	118,217	△118,217	—
計	3,379,828	502,145	3,881,974	△118,217	3,763,757
セグメント利益	90,407	65,304	155,711	—	155,711

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当座貸越契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うために取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
当座貸越限度額の総額	1,590,000千円	1,690,000千円
借入実行残高	537,584	780,336
差引額	1,052,416	909,664

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	123,402千円	141,835千円
のれん償却	-	2,396